



意義のある参加の原則

「スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツ・プログラムを成功させるための7つの条件」のうち最も重要なのは**意義のある参加の原則**である。基本的に、意義のある参加の原則によって、すべてのプレイヤーは競技特有の技能と資質を活かし自分のチームの成功のために貢献する機会を与えられる。つまりチームメイトの各人が、(a) 十分な競技特有の技能を持つとともに、試合をよく理解していることを示し、(b) 自分の素質を重んじた価値のある役割をチーム内で担い、そして(c) 負傷する危険性を高めることなくプレーをする機会がある、ということである。

すべてのチームメンバーが参加し、各人の競技能力と力強さを発揮しなければならない。その際に、アスリートとパートナーでは違った見方をするかもしれない。チーム内のアスリートにとっては、自分が貢献しそれが受け容れられ尊重されるという体験に慣れていないかもしれない。さらに、パートナーはチーム内で良きチームメイトでいながら他のチームメイトに最善を尽くしてプレーするよう励ます必要があるかもしれない。

それゆえに、ユニファイドスポーツ・チームをつくる際には、アスリートとパートナー双方を競技能力と試合中のプレーについて評価することが極めて重要である。プレイヤーの技能に目に見える違いがあるかもしれないが、コーチは全体的なパフォーマンスを見ながらプレイヤーがこのチームで安全に参加するために必須の技能と理解力があるかどうかを判断することができる。チームメイトの各人が意義のある役割を果たし、持てる力を自分が所属するユニファイドスポーツ・チームのために貢献する機会を持つべきことが目標である。各人が存分に競技に参加し有意義な経験ができるようにするには、チームメイト間の相互交流やコミュニケーションの質が問われている。

意義のある参加の指標

- チームメイトが自分自身や他の人たちを負傷する危険性に必要以上にさらすことなく競技する。
- チームメイトが競技会のルールに従い参加する。
- チームメイトにチームのパフォーマンスに貢献できる競技能力と機会がある。
- チームメイトが他のプレイヤーの技能に自分の技能を合わせ、それによって競技能力の低いチームメンバーがパフォーマンスを向上させている。

以下のようなチームメンバーがいる時は**意義のある参加は達成されていない**-----

- 優れた競技技能を発揮するが、チームメイトを参加させていない。
- チームメイトまたはメンターとしてよりは、主に現場コーチの役割を果たす。
- 試合のほとんどの側面、特に最も重要な時間帯をコントロールする。
- トレーニングや練習を規則正しく行わず、競技会の日だけ現れる。
- 他者を傷つけたり試合全体をコントロールしたりしないよう、競技能力のレベルを極端に下げる。

注：チームメンバーを選ぶ前にすべてのコーチおよびプログラムリーダーが意義のある参加の原則を理解していることが重要である。

このように、ユニファイドスポーツはスペシャルオリンピックスの使命をさらに深く理解し、スペシャルオリンピックス・ユニファイドスポーツの哲学と原則を受け容れている。

「そんなに違いは無いと思います。アスリートもパートナーも競技がしたいだけです。そして皆楽しみたいのです。」ードン・ヘス、ユニファイドスポーツのコーチ